

まつり囃子

「八王子祭囃子連合会・会報」第14号

平成31年(2019年)1月27日 発行/発行者 山崎英明(八王子祭囃子連合会会長)
事務局 〒193-0931 東京都八王子市台町1-17-12 大久保明彦(事務局長)

[主な内容]

- 萩生田名誉顧問・榎崎最高顧問・秋間後援会長ご挨拶
- 会員囃子連の紹介：犬目囃子連・東雲会・千木良囃子連

[加盟団体] 浅川囃子連・五日市上町囃子連・犬目囃子連・大横町囃子連・片倉囃子連・上柚木囃子連・散田囃子連・東雲会・諏訪伝統芸能保存会
千木良囃子連・てんた会囃子連・中澤囃子連・並木はやし連・西三囃子連・八櫻会・八幡八雲神社両社囃子連・日野囃子愛好会
日野囃子保存会・本町囃子連・みつめ囃子振興会・南大沢囃子連・宮下囃子保存会・元横囃子連鼓会・鍵水囃子保存会

ご挨拶

名誉顧問 萩生田光一

衆議院議員



皆様おそろいで輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

八王子祭囃子連合会の皆様には昨年も夏の八王子祭りや秋の市民文化祭、いちよう祭りをはじめ市内各地でご活躍頂き感謝申し上げます。

平成も残すところ四ヶ月となり、五月には新元号のもとで新しい歩みを始める一年になろうと思えます。

既に八王子祭り実行委員会では、新天皇陛下の武蔵陵への初来王に合わせ、伝統の山車とお囃子で迎える企画も進んでいるとお聞きます。日本中のどの街より御皇室とのご縁が深い我が街の歴史と伝統を誇りに、御代替わりの一年を各所で盛り上げて頂ければ幸いです。

昨年、日本への訪日外国人は三千万人を超えました。本年はG20大阪サミットをはじめ、TICAD7(アフリカ開発会議)や国内初となるラグビーW杯の開催など、今までにはない国際会議やイベントも目白押しで世界の目が日本に向けられる年となります。真に時代の転換期に、政治の場に身を置く一人として、しっかりと頑張りますので、皆様の変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

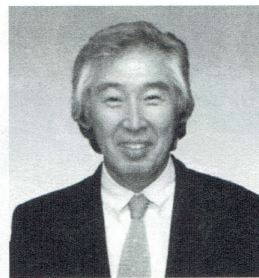


2018年11月4日(日) お囃子共演/いちようホール
ゲスト団体の福島芝囃子保存会

本年一年の会員皆様のご多幸をお祈りし、ご挨拶と致します。

ご挨拶

最高顧問 榎崎 博



あけましておめでとございます。

平成の時代も今年で終わり、新しい元号のもと、新天皇が私達日本国民の象徴として心の拠り所になり、新しい時代がスタートします。

私達も一国民として大きな慶びを感じるものであります。

昨年を振り返りますと、日本だけではなく、世界を見渡しても、今までは想像もできないことが数多くありました。

政治でも経済でも然りであります。

また、私達が抗することができない天候も異変つきであり、良くも悪くも、今までは違ってきたなど感じるの、私一人ではないと思います。

そのような中、古来から日本は、伝統を重んじ、気持ちを集約し、調和しながら、歴史を積み重ねてきました。

しかしながら、昨今の世情をみた時、残念ながらそのような良き伝統が崩れつつあるのではと、危惧します。

その要因の一つに節度がなくなってきたことがある

のかもかもしれません。

節度を持つことは、一人ひとりが全体の中で調和をとりながら意識し、行動することであると思います。

節度をもって、嗜み、楽しむことが、全体が一つになれることだと思います。

八王子祭囃子連合会も、良き伝統を活かし、より良いものを求め、今まで以上に、歴史の積み重ねを感じ、八王子の伝統文化の継承につとめていただければと思います。

今年一年さらにご活躍されますことを、期待し、挨拶に代えさせていただきます。

新年の挨拶

後援会会長 秋間 利久



新年あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えることとお喜び申し上げます。

平成三十年は過去にない大災害の発生で、内外ともに厳しい年となりました。来年は平穏な一年であります事を願うものです。

そして、五月には、天皇陛下生前退位により皇太子

殿下が新たに天皇を継承され、年号が新しくなります。

この、記念すべき節目の年に、八王子祭囃子連合会も、心新たに山崎会長を中心に一枚岩となり、会の発展と、担い手の育成のための子供達への稽古、見守り、礼儀、道徳など指導し続けてください。そして、なにより自らも技術の向上を図り、稽古に励まれている皆様に敬意を表します。

ふしぎと、お囃子を聞いていると、心が落ち着き、穏やかな気持ちになるのは私だけではないと思います。

また、激しく燃え立つこともあります。お囃子とは不思議な音である・・・。

これからも日本の文化を、八王子の良き歴史を若い方々に広めていただき、八王子祭囃子連合会の更なるご活躍とご発展を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



◆◆◆ 会員団体の紹介 ◆◆◆

犬目囃子連

会長 原田次朗

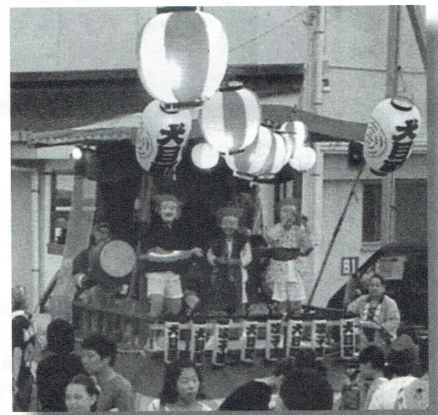
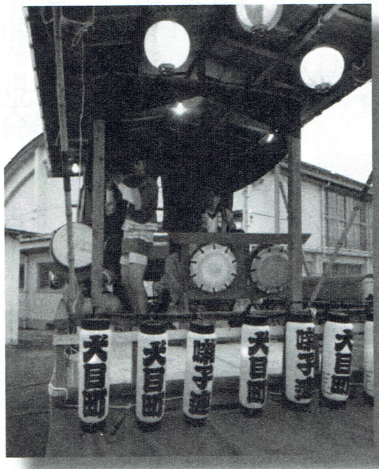
発祥は、あきる野市引田の藁取人が仕事で犬目に来た折、東京下町で習得した「神田囃子」を村人に奨めた。大正十三年引田より指導者二人を招き、犬目の若衆十数人が熱心に習得に励んだ。

戦前・・・八王子下祭（八幡八雲神社祭礼）（多賀神社の祭礼）など「はやし方」として招かれた。

後に「犬目囃子」として招かれた、戦前は復興祭にも台東区から区役所で公演し、浅草の伝法院でも上演された。

「犬目囃子」が、昭和五十二年陶路小学校創立百年を機に、町会の賛同により復活、親（年寄）、子（壮年）、孫（小学校）による猛練習が始まった。

現在のメンバー（大人十名、子ども十一名）で地元町民祭、学校、老人ホーム、神社、横田基地内の小学校で公演も行っている。



東雲会

会長 新井利招

当会は紆余曲折を経て今に至っております。

昔、香川社中を脱退した会員数名が、八王子目黒囃子の源流としても歴史の深い北野囃子連を再興しようと集まり、それが原型となりました。

当初は北野囃子連として活動していましたが、次第に伝承のみをやりたい派と、更に色々な事をやって発展させたい派とに別れ、後者が現在の東雲会となりました。

名前の由来は、八王子を見て東側の明神町を拠点とし、新しく始めようという、囃子でいうところの雲切りから一文字ずつを合わせた単語で東雲会といたしました。

現在では会員も約二十名程に増え、二〇一八年は元日の子安神社奉納囃子から始まり、同社金比羅祭り、

多賀神社節分祭、子安神社初午祭、北野天満社例祭、明神町四丁目祭礼、子安神社祇園祭、元本郷一丁目祭礼、多摩伝統文化フェスティバル、いちようホール公演と活動場所も増えております。

会員達の探究心が高く常に高みを目指しており、今後も更なる発展を目指しております。



千木良囃子連

会長 中里真司

新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

今回は、千木良囃子の沿革と囃子連の活動状況をお話します。

最初に沿革ですが、天保年間、徳川十三代將軍家慶の頃、江戸神田下町囃子の師匠、御殿万造より指導を受けた加藤国造が、武蔵国多摩郡上相原村大戸（現在

協賛会員の皆様

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 秋間電設(株) | セブンイレブン高尾北口店 |
| アクセス株式会社 | (株)セレモア八王子本社 |
| アミーズ サンバ教室 | ソシアル マドンナ |
| 安藤豊店 | (株)ダイエーコンサルタンツ |
| 家飯 吉野坊 | (株)代田清水屋 |
| 石森 孝志 | 滝沢 景一 |
| (株)いしまさコーポレーション | 伊達 めぐみ |
| (株)伊勢屋呉服店 | たなべ物産株式会社 |
| 伊藤 祥広 | (株)多摩工業 |
| 伊藤 裕司 | 玉がき |
| 岩田祐樹 | 千歳 |
| インテリア秀吉 | 都築木材株式会社 |
| (有)上林建材工業 | 鶴屋 |
| うさぎや(小俣) | (有)つるのフラー |
| (株)エステラスト | 特別養護老人ホーム 椿 |
| (株)悦トータルハウジング | 戸吹臨忠 |
| (株)エヌアイ建設 | 中川商店 |
| (株)大坂屋 | なか安 |
| (株)オキセ西東京営業所 | 西山 賢 |
| (株)開発社 | (株)野口不動産 |
| 榎崎 博 | 博多中洲どりや八王子店 |
| カトウ洋品店 | 萩生田 光一 |
| ガリバー企画 | 萩生田 富司 |
| 川崎ミシン | 八王子エルシィ |
| (有)木戸豊店 | 八王子ニキビ研究所 |
| 木村 めぐみ | 八幡八雲神社 |
| クウセツ | 八王子ゆうご |
| (株)工藤商店 | 花新 |
| 黒須建設株式会社 | 馬場 貴大 |
| 京王プラザホテル八王子 | Pub Stage 55 |
| 美容室 cocoro | 東山工業株式会社 |
| (有)越野ボディー | 藤井商店 |
| 小竹染工 | HONDA CARS 八王子東 |
| 小林 ひろえ | (株)増田禎司商店 |
| 小松歯科医院 | (株)まつおか書房 |
| (株)完山金属 | (株)マルコ |
| 三多摩燃料 | 美ささ株式会社 |
| (株)三成堂 | 三島和繁 |
| シネマクラブ | 水野 じゅん |
| 志乃ざき | (株)溝口祭典 |
| らーめん処 信玄亭 | 元島佳晴 |
| (有)新興工業 | 両角 穰 |
| SWEET 37 | 矢島染物店 |
| 菅沼太鼓店 | やすらぎの湯 |
| すきやき山本 | (株)吉水建設 |
| 鈴木 基司 | 吉本 たかよし |
| 鈴木 レオ | Lounge Jammin |
| 瀬沼木材株式会社 | 文字工房楽善堂 |

一部法人格及び敬称略

の町田市相原町大戸)の吉川家の養子となり、大戸囃子の基をつくりました。

この芸風が近郷近在に伝わり、千木良(宿・中村)にも伝授され、千木良囃子として若者の間に広がり、伝統と誇りをもつ郷土芸能となりましたが、時代の変遷とともに、千木良囃子にも衰退の危機が訪れました。

そこで、昭和四十八年、地元の青年会により千木良囃子連が結成され、同年から大戸囃子保存会の指導を受け、神田下町囃子(大戸囃子)を習得することができました。

演奏する曲目は、「屋台、印旛、昇殿、鎌倉、神田丸、四丁目、子守唄、車切」で、演奏順は状況に応じて選曲しています。

練習日は、毎週土曜日で、千木良公民館を練習場所として、会員は技術向上に励んでいます。

次に、祭礼、イベント等の活動状況ですが、地元の牛鞆神社祭礼・公民館まつりへの参加をはじめ、八王子まつり(小門町)、八王子八幡八雲神社例大祭、八王子市民文化祭(いちようホール)などに参加しています。

なお、当囃子連では、目黒囃子「早、印旛、鎌倉、国固、四丁目」も伝承しています。また、毎年八月二十五日・二十六日に行われる地元の牛鞆神社祭礼には、屋台二台が巡行します。会員は、それぞれの屋台に分乗して、目黒囃子と大戸囃子の流派を演奏しています。

最後になりますが、これからも千木良囃子の伝承と後継者の育成に、会員みんなで取組んで参りたいと思っております。

